

燃やすごみの減量化と資源化にご協力ください

令和5年度の燃やすごみ(家庭ごみ)の搬入量は、前年度の搬入量と比較すると減少しました。

	令和4年度 総搬入量	令和5年度 総搬入量	前 年 比
燃やすごみ	9,944 t	8,817 t	1,127 t 減 (約11.3%減)
可燃系資源 (雑紙等)	375 t	351 t	24 t 減 (約6.4%減)

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して、行動範囲の制限がなくなり、外出の機会が増えて自宅内で過ごす時間が減少したことが、燃やすごみの搬入量に反映されていると推測されます。

燃やすごみの内容を調査したところ、プラ製容器包装や雑紙など、分別すれば資源として再利用できるものが多く混入していました。燃やすごみが増えることで、ごみ焼却炉への負担が増え、施設で処理しきれなくなるおそれがあります。引き続き、分別によるごみの減量化と資源化のご協力をお願いします。

4月から9月までは 「光化学スモッグ対策期間」

光化学スモッグ

風が弱く、気温が高く晴れた日に発生しやすく、目がチカチカする、頭痛がする、息苦しいなどの症状を引き起こします。県では、オキシダント濃度が一定基準値以上となり、その状態が継続すると予想される場合に、光化学スモッグ注意報を発令しています。

注意報が発令されたら

屋外での激しい運動は避けましょう。目がチカチカしたり、のどが痛くなったりしたときは、洗顔やうがいをして、しばらく安静にしましょう。洗顔やうがいをして症状が治まらないときは、すぐに医師の診察を受けましょう。

PM2.5の注意喚起

県では、県内のPM2.5濃度の1日あたりの平均値が70マイクログラム(1立方メートルあたり)を超えると予想される場合に、注意喚起情報をお知らせしています。

注意喚起情報が出たら

屋外での長時間の激しい運動を控えましょう。屋内においても換気や窓の開閉を必要最小限にしましょう。また、呼吸器系や循環器系疾患のある方、子ども、高齢の方などは、体調に応じて、より慎重に行動することが望まれます。

もっと光化学スモッグやPM2.5について知る

県ホームページとちぎの青空

[URL:https://www.pref.tochigi.lg.jp/d03/eco/kankyoku/hozen/aozora.html](https://www.pref.tochigi.lg.jp/d03/eco/kankyoku/hozen/aozora.html)

不用品リサイクル情報(無償提供)

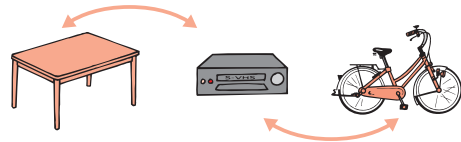
市では、不用品リサイクルの情報を提供しています。

《譲りたい》

南河内第二中学校女子制服(夏服)、チャイルドシート、ランドセル(青)、小山高校ワイシャツ 175cm、応接テーブル、ダイニングテーブル、鏡(大型)、毛糸(純毛)、折りたたみベッド、睡蓮鉢、植木鉢

《譲ってほしい》

南河内小中学校男子制服、薬師寺幼稚園女児制服・体操服(100サイズ~)、石橋中学校女子制服(S~M)、テレビ録画機器、ノートPC(Win10以降)、液晶テレビ、車いす、ルームランナー、自転車



クビアカツヤカミキリに注意 (情報提供にご協力ください)

クビアカツヤカミキリは、幼虫がモモ、ウメ、サクラなどの樹木の内部を食い荒らし、最終的には樹木を衰弱・枯死させる特定外来生物です。県内全域に被害が急拡大することが懸念され、市の公共施設でも被害を確認しています。

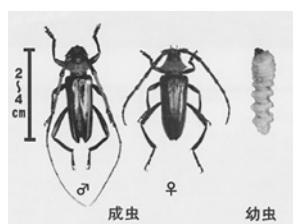
7月は羽化した成虫の発生ピークを迎え、フラス(幼虫のフンと木くずの混ざったもの)の排出が大量に確認される時期です。被害の拡大を防ぐには皆さまからの早期の情報提供が必要です。クビアカツヤカミキリを発見した際には、成虫を速やかに捕殺するとともに、下記問い合わせ先までご連絡ください。

■問い合わせ先

環境課 ☎(32)8898

県環境森林部自然環境課 ☎028(623)3207

(果樹被害について 農政課 ☎(32)8906)



クビアカツヤカミキリ



フラス